

いのちと人生の価値を高めるケア と条件づくり

わが国は少子高齢化とグローバル化の加速的進展と複雑・多様化する社会状況において多死社会を迎えようとしており、エンドオブライフケアの確立は医療ケアの重要課題となっています。そこで、国内外の研究で明らかになったエビデンスに基づき、質の高い実践ができることをめざし、セミナーを企画しました。きっと明日からの皆様の実践に役に立つセミナーになると思います。皆様のご参加をお待ちしております。

2017年12月3日(日) 10:00 ~ 13:00 (開場9:30~)

名古屋ガーデンパレス 名古屋市中区錦3丁目11-13

【プログラム】

●がんと非がん事例の特徴とケア

講師:平原佐斗司先生 東京ふれあい医療生活協同組合
梶原診療所 在宅総合ケアセンター長/病棟医長

●地域におけるアドバンス・ケア・プランニングのすすめ方

～本人の希望する人生の意思決定を支えるために～

講師:西川満則先生 国立長寿医療研究センター
地域医療連携室長 緩和ケア診療部 EOLケアチーム

【定員】 250名 ご興味をお持ちの方どなたでも参加ください

【参加費】 事前 会員 2,000円 非会員 4,000円

当日 会員 3,000円 非会員 5,000円

本学会と日本エンドオブライフケア学会の会員は、会員価格で参加できます

●申し込み方法・詳細は、ホームページにて随時ご案内致します

<http://www.asas.or.jp/jshhc/index.html>

【主催】 一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会

【後援】 一般社団法人 日本エンドオブライフケア学会

問い合わせ

一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会
〒474-0035 大府市江端町三丁目220番地 人間環境大学大府キャンパス内
E-mail: jshhc@uhe.ac.jp

いのちと人生の価値を高めるケアと条件づくり

テーマ	講師	内容・講師紹介
がんと非がん事例の特徴とケア	平原佐斗司 先生 梶原診療所	国内外のがん・非がん疾患のエンド・オブ・ライフケア・緩和ケアの歴史、エビデンスに基づき、非がん疾患のEOLケアの特徴を概説する。非がん疾患の緩和ケアを困難にしている予後予測と意思決定支援について海外のエビデンスをもとに解説。 日本在宅医学会副代表理事、日本エンドオブライフケア学会理事
地域におけるアドバンス・ケア・プランニングのすすめ方 ～本人の希望する人生の意思決定を支えるために～	西川満則 先生 国立長寿医療研究センター	講演では、地域におけるアドバンス・ケア・プランニングのすすめ方を提案する。演者は、国立長寿医療研究センターで、エンド・オブ・ライフケアチームの医師として、倫理判断支援を実践している。また、地域医療連携室長として、地域でのアドバンス・ケア・プランニングの普及を目指し活動している。成26年-27年度の厚生労働省事業である、人生の最終段階における医療体制整備事業の事務局をつとめた経験を持つ。 日本エンドオブライフケア学会理事

【会場アクセス】 名古屋ガーデンパレス <http://www.hotelgp-nagoya.com/>



お車でお越しの場合

名古屋駅より桜通を東へ直進 桜通本町を右折2本目を左折すぐ
◆名古屋インターチェンジより西へ約30分(11km) 広小路本町を右折3本目を右折すぐ

地下鉄をご利用の場合

- ◆栄1番出口を出てUターン、錦通りに沿って西へ直進し3つ目の信号を右折、徒歩5分
(東山線・名城線)
- ◆久屋大通4番出口より徒歩5分
(名城線・桜通線)
- ◆伏見1番出口より徒歩8分
(東山線・鶴舞線)
- ◆丸の内5番出口より徒歩5分
(桜通線・鶴舞線)

問い合わせ

一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会
〒474-0035 大府市江端町三丁目220番地 人間環境大学大府キャンパス内
E-mail: jshhc@uhe.ac.jp